

質問について

12月5日ラストバッターとして初登壇しました。
以下のような質問をしました。

1、指定管理者制度の更なる充実をはかればどうか？

更新にあわせて公募等の拡大を図ること、ならびに直営施設への制度導入の拡大に向けて検討を進めている。今後の課題としては、対象施設の設置目的が効果的・効率的に達成できる最適な手法が指定管

理者制度であるか否かを、経費面・サービス面などにおいて、業務委託などの費用とも比較を行ううえで選定していく。アウトソーシングの手法の中で、指定管理者制度が適していると考えられる直営施設については、公募を原則とした制度導入の拡大を進めていく。

(米田副市長)

2、NPOや自治会、住民と協力しながらコミュニティバスの制度を推進してはどうか？

コミュニティバスについては、

全市的なまちづくりの観点などを含む総合的な検討の必要性から、平成20年度以降、事業の再評価を含め、今後のあり方を検証する。運送主体となるNPOなどの調査や研究とともに、関係団体で組織する運営協議会の設置などの課題も含め鋭意検討を重ねていく。

(延澤健康福祉局長)

3、食の安全のためにも地産地消の推進と、ブランド化についてどう取り組むか？

平成16年度から食の安全安心と地域農産物のブランド化を目指して、地産地消事業の推進に取り組んでいる。農林漁業祭りや市民ふれあい朝市などで地元農産物の積極的なPRに努めている。平成18年度に姫路の農産物ブランド、ひめそだちを制定したが、今後も、ひめそだちの普及啓発を行うと

ともに、農産加工品の新規開発や生産機械の購入費の助成、栽培講習会の開催を行い、生産拡大のための支援を行っていく。

(原産業局長)



▲地産地消の為に農地を利活用。

4、子どもの安全確保について、どんな取り組みをされる予定か？

現在、旧市が3万8千灯、合併町が5千灯となっており、ほぼ同じ水準で設置がされている。年間の設置は約900灯で、そのうち3分の2の600灯はより防犯効果の高い高照度防犯灯であり、特に通学についてはすべて高照度となっている。今後も地域に対し、防犯灯の設置、特に防犯効果の高い高照度を奨励していく。今後はさらに地域の青色防犯パトローカーの運行の呼びかけをはじめ、各学校・園においても安全教育の徹底を図るなど、子どもの安全確保に努めていく。

(今村市民局長)

mini comi

—ミニチュア・コミュニケーション—

市政報告を

兼ねて、皆様の声を聞かせて下さい!



萩原唯典



「mini comi」お申込期間
5月1日～随時受付!

お申込みはこちら!
TEL:079-264-2805
E-mail:himeji@t-hagiwara.com

ATTENTION! <http://www.t-hagiwara.com> 萩原ただすけの毎日の活動を日々更新!